

この度はシャッテン・ピックアップのアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。
本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

HFN スチール弦アコースティックギター用ピックアップの音量バランスの解決方法

HFN スチール弦アコースティックギター用ピックアップは楽器の弦の振動を直接、正確に電気信号に変換するように設計されています。弦の振動はサドル、サドルスロット、ブリッジ、表甲、ブリッジプレート、ピックアップと順番に伝搬します。ほとんどのギターの場合、弦の振動はピックアップまで均一にバランス良く伝達されるため問題はありませんが、中には振動の伝達に問題のある楽器があります。バランス不良の原因は1つだけでなく複数の要因が同時に重なっている場合もあります。もしピックアップの出カバランスが各弦の間で均でない場合には、本説明書をお読みになり解決方法を探ってみて下さい。

サドルのフィット具合

サドルがしっかりとサドルスロット内で固定されていないと、弦の振動の伝達力が弱くなります。サドルが傾いていたり、ぐらついていないか確認して下さい。また、サドルの底面は完全にフラットになっていなければなりません。そうなっている事で音響的に楽器がベストな状態で鳴ると共に、振動も最大限ピックアップに伝達されます。これらに該当する場合サドルとサドルのフィッティングを再調整して下さい。特に以前アンダーサドルタイプのピックアップを装着していたギターでは、サドルの裏側がフラットでない場合があります。その場合サドルを新品と交換して下さい。

X ブレイスの干渉

ピックアップの脚がカ木に触れていないか確認して下さい。ピックアップがカ木にほんのわずかでも接触していると、音が減衰します。

ブリッジプレートがフラットでない

ほとんどの場合、ギターのトップ（表甲）はブリッジの付近でほんの少しふくらんでいます。それにより裏側にあるブリッジプレートが裏側にあるブリッジプレートが多少そる場合があります。ほとんどの場合そりはテープやパテの厚みで吸収出来るため支障の無い範囲です。ピックアップを取り付ける際には、テープや粘着パテを付ける前に、ピックアップがサドルプレートにフラットに取り付けが可能かチェックして下さい。ブリッジプレートに付着物などがある場合はきれいに取り去って下さい。

ギターの構造上のメカニカル・フェイズ（位相）の問題

ギターの中には音響的には問題が無く音が出ていても、設計上や生産上の理由により、メカニカルなフェイズのズレが発生している場合があります。その場合、構造上の問題で弦の振動がピックアップに均一に伝達されません。このメカニカルなフェイズの問題は楽器に貼り付けて使用するあらゆるタイプのピックアップに問題を引き起こしますが、下記の方法で解決できる事もあります。

- 1) 真ん中の脚をテープの代わりにパテで取り付けて、振動の伝達を削減する。
- 2) あるいは、真ん中の脚には何も付けなくて、サドルプレートと固定しない。
- 3) あるいは、両サイドの脚のテープの厚みを倍にする。

ブリッジの浮き

ギターの表甲とブリッジの間に隙間があると、弦の振動はうまく伝達されません。また、ブリッジが剥がれかけていると、当然ブリッジプレートもそる可能性が高くなります。それも伝達を妨げる要因になります。その場合は、楽器を調整して下さい。